

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	感染症研究国際ネットワーク推進プログラム		担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成26年度		担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官 阿蘇 隆之			
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	感染症が人類に対する脅威となっていることに鑑み、これまでに整備した新興・再興感染症研究拠点の更なる充実・強化を図ることにより、永続的な研究活動を進める基盤を確立する。また、国内外の研究機関との連携を深め、感染症対策に資する知見の集積、人材育成等を図ることにより、国際貢献を果たしつつ、日本国民ひいては人類の健康と安全を守ることに寄与する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第1期(平成17年度～平成21年度)において整備し、現在アジア・アフリカの8か国13か所に展開する海外拠点を活用して、感染症対策に資する研究開発の推進を集中的・継続的に実施し、基礎的知見の更なる集積、人材育成等を推進する。さらに、従来拠点ごとに行われていた研究について、共通の課題ごとに拠点間の連携研究体制を構築するとともに、広く国内関係機関の参加も得て研究を進め、疾患・テーマ別の研究推進体制(研究コンソーシアム)を構築する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	1,900	1,722	1,722	1,719	2,234	
		繰越し等	-	-	300	-	-	
		計	1,900	1,722	1,721	2,019	2,234	
	執行額	1,898	1,720	1,720	-	-		
	執行率(%)	99.9%	99.9%	99.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	発表論文数			本	234	280	242	-
			達成度	( - )	( - )	( - )	( - )	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業に参画した研究人材の数(累積)			人	104	114	149	-
			%	-	-	-	-	
単位当たりコスト	論文一本あたりのコスト 7(百万円/本)		算出根拠	単位当たりコスト = H24までの投入費用(5338百万円) / 発表論文数(756本)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	1,712百万円	2,232百万円	新しい日本のための優先課題推進枠 500,000円				
	非常勤職員手当	4百万円	-					
	職員旅費	2百万円	1百万円					
	委員等旅費等	1百万円	2百万円					
	計	1,719百万円	2,234百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業は、第4期科学技術基本計画及び日本再興戦略等において重要事項として位置付けられており、健康長寿社会の実現に資するものである。したがって、国として事業の進捗を管理しながら推進する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、十分な広告期間を設け、HP等で周知した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。なお、委託費の交付決定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当事業は、研究の推進に当たって、海外における研究のための施設・設備・人員が必要となるため、国が海外研究拠点を定めて集中的に整備することで、効率的かつ実効性の高い運用を行っている。また、研究内容について、PD・POが海外拠点を視察するなどして、研究内容や施設の活用について確認し、細かに進捗管理を行うことで、事業の着実な実施に努めており、当初の計画通り着実に成果を上げている。また、その成果は、論文発表等により、社会に発信され、十分に活用されているとともに、協力相手国の公衆衛生に貢献し、関係部局からの評価を得ている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	○各研究拠点が、国内外の研究機関とも連携を深めつつ、本プログラムで構築したネットワークを活用し共同して研究を行い、各拠点に集積した知見、研究成果を共有することで、より効率的に感染症研究を推進するよう努める。					
	○第三者の有識者からなる中間評価委員会を開催し、事業の適切な予算配分や計画の見直しの必要性等を検討した結果を踏まえ、選択と集中による効率的な予算配分を行った。また、中間評価を踏まえ、各研究機関とPD・PO意見交換会を開催し、今後の対応について検討した結果を、来年度の事業運営に反映していく必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点: 本事業は、新興・再興感染症に関する海外研究拠点の構築などにより、研究人材の育成等を行う競争的資金であり、契約執行の手続き等の観点から検証を行った。					
	2. 所見: 本事業は、平成22年度レビュー等の指摘を踏まえ、シンポジウムに要する費用の効率化を図る等、一定の見直しが行われていることは評価するものの、引き続き、より効率的・効果的な予算執行に努めるべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	平成24年度は、シンポジウムの開催経費や各拠点への予算配分の見直しを行った。引き続き、費用の効率化を図るとともに、予算の執行状況を定期的にPD・POを交え共有し、各拠点の研究計画の見直しを行うことにより、より効率的・効果的な予算執行に努める。					
備考						
【事業仕分け】 (事業番号/事業名) 事業番号3-38 競争的資金(ライフサイエンス分野) (結果) 廃止又は予算要求の縮減(2割～半額) (とりまとめコメント) 感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(第Ⅱ期)については、廃止が3名、来年度予算計上は見送りが2名、予算要求の縮減4名、そのうち半額縮減が2名、2割縮減が2名であった。縮減、廃止と出てきた中身については、厚生労働省との連携、大学の能力を生かして縮減、あるいは、これそのものが厚生労働省の仕事ではないかというのが出ている。その評価を見て、厚生労働省との連携あるいは協力を前提として、廃止又は2割～半額の縮減とさせていただきたい。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0261	平成23年	0246	平成24年	0265

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
1,720百万円

非常勤職員手当	4.2百万円	}を含む
諸謝金	0.7百万円	
職員旅費	0.9百万円	
委員等旅費等	0.6百万円	

アジア・アフリカ8か国13か所に設置した海外研究拠点を活用し、感染症対策に資する基礎的知見の集積・人材育成等を実施するための研究課題を審査・選定し、研究の推進と体制の整備、資金の配分と適切な使用等に関して、マネジメントを実施。

【公募・委託】

A: 感染症研究

支出総額: 1,614百万円  
大学等(全26機関)

アジア・アフリカ8か国に設置した海外研究拠点を活用し、感染症対策に資する基礎的知見の集積・人材育成等を実施 等

【随意契約・委託】

B: 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター

支出総額: 100百万円  
独立行政法人理化学研究所(1機関)

海外研究拠点間のネットワーク、連携研究の推進

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.国立大学法人大阪大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	設備備品費	27			
	消耗品費	45			
人件費・謝金	人件費	103			
旅費	旅費	16			
その他	外注費(雑役務費)	8			
	通信運搬費	3			
	会議費、諸経費、消費税相当額	33			
間接経費		71			
計		306	計		0
B.独立行政法人理化学研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	56			
業務実施費	消耗品費	1			
	国内旅費 外国旅費	4			
	借損料	16			
	雑役務費、外国人等招へい旅費、印刷製本費 等	14			
一般管理費		9			
計		100	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人大阪大学	新興・再興感染症制圧に向けた日本タイ連携研究拠点形成	306	企画競争	—
2	国立大学法人東京大学	中国との連携を基軸とした新興・再興感染症の研究	275	企画競争	—
3	国立大学法人長崎大学	ベトナムにおける長崎大学感染症研究プロジェクト	236	企画競争	—
4	国立大学法人北海道大学	人獣共通感染症克服のための国際共同研究	178	企画競争	—
5	国立大学法人岡山大学	インド国を拠点とした腸管感染症の研究	112	企画競争	—
6	国立大学法人東京医科歯科大学	西アフリカ地域の研究拠点を核とした感染症研究の戦略的展開	105	企画競争	—
7	国立大学法人東北大学	フィリピンの新興・再興感染症研究拠点における国際共同研究	97	企画競争	—
8	国立大学法人神戸大学	インドネシアにおける新興・再興感染症の国際共同拠点形成	94	企画競争	—
9	独立行政法人国立国際医療研究センター	ベトナムにおける国立国際医療研究センター感染症研究プロジェクト	91	企画競争	—
10	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構	東南アジアにおける鳥および豚由来インフルエンザ等人畜共通感染症の疫学	55	企画競争	—

※「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」(第1期:平成17~21年度)開始の際に公募を実施。第1期プログラムにおいて構築した研究拠点を、本プログラムにおいても拠点として活用するため引き続き事業を委託。なお、一部の課題については平成22年に公募を行っている。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	新興・再興感染症研究ネットワーク推進センターの運営に係る業務	100	随意契約	—